

議員氏名：一石 洋子

議案番号：陳情第12号

案件名：豪雨災害を踏まえたラディアン周辺行政機能等集約事業を防災上からの検証と見直し求める陳情について

討論内容：

私は、本陳情に反対の立場で討論いたします。

台風10号の被災について、また、今後の防災、減災対策についての指摘である陳情項目の1と2は、議員として納得できる内容であり、さらに陳情者の尽力と危機感に敬意を示すべき地域活動の裏づけがあることが質疑で十分理解いたしました。何よりも短時間でこれほどの流量の増加が起こるということの事実を、住民と行政が肝に銘じた経験でした。

多様な対策の推進とともに、気候変動によるかつてない被災は、これまで広域で管理するとしてきた治山治水を、住民のあらゆるステークホルダーと町ぐるみで、近隣自治体とも共有して、流域治水として取りかかる必要を思い知らせることもなりました。

流域治水は、優れた多様な政策が進む考え方で、入れ子構造であります。地域の小規模な浸透施設から広域シェアのソフト、ハードの施策を研究することは自明です。

しかしながら、陳情項目の3で言及されている建設計画の見直しにおいて、浸水崩落被害想定区域の被災はここ数年に及ぶ行政の業務の継続と命と人権を守る住民の生活の質の向上に係るラディアン周辺行政機能集約事業は、これを織り込み済みの計画であることから、建設の緊急性を否定する要素ではないと考えます。むしろ、この建設計画を、気候変動時代の、また、大型地震の防災、減災のモデル拠点として戦略的に位置づける研究を進めていく状況であると思いますので、賛成しかねます。以上です。